

独立行政法人国立美術館の令和元年度業務実績に関する評価結果を踏まえた運営業務の改善等への反映状況

中期計画項目	令和元年度業務実績評価における主要な指摘等	左記の指摘を踏まえた令和2年度の改善の状況
<p>I. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 美術振興の中心的拠点としての多彩な活動の展開</p>	<p>美術館を取り巻く新たな環境に対応するため、国内の美術作品の積極的な活用を行うとともに、デジタルコンテンツの重要性を鑑み、その整備及び積極的活用に向けた取組を期待したい。</p>	<p>令和3年度中に「アート・コミュニケーションセンター(仮称)」を設置する予定となっており、指摘事項についてはセンターでの業務にて取り組む予定である。</p>
<p>I. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>2 我が国の近・現代美術及び海外の美術を体系的・通史的に提示し得るナショナルコレクションの形成・継承</p>	<p>所蔵作品の保管スペースの確保については、「収蔵庫等保管施設の狭隘・老朽化対応に係る方針」に基づき、様々な検討を行っているところであるが、国内の美術作品の活用、法人の持つ資産の活用、財源等、多様な視点を持って引き続き検討を進めることを期待したい。</p>	<p>収蔵品の保管・管理については、ほとんどの館において収納が限界に達している状況が続いており、外部倉庫の活用や収納棚の増設等により、収蔵環境の改善に努めた。</p> <p>また、万全な作品の保存環境の整備を行なうために法人として策定した「収蔵庫等保管施設の狭隘・老朽化対応に係る方針」に基づき、地方自治体や関係機関の交渉を今後も継続して進めていく。</p>